

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスすたあと		
○保護者評価実施期間		2024年 10 月 7 日	~ 2024年 10 月 11 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間		2024年 10 月 7 日	~ 2024年 10 月 11 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12 月 10 日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日の事業所での活動内容をブログにあげているので子供たちが活動している様子をいつでも確認できる。	毎日、かかさずにブログをあげている。 ブログにはモザイク機能があり、顔出し出来ない子も親御さんが見れば服などで確認ができる。	偏りが無いように、来所中の子供たちがたくさんブログに載るようにしていく。
2	家庭に近い環境なので、子供たちが緊張することなく「ただいま」と帰ってこられる。	自分の家に帰ってきた感覚をもてるように、より身近な存在になれるように気を付けている。	今まで同様、子供たちにとって身近に感じられる存在になれるよう、より子供たちの事を知っていくことが必要だと感じている。
3	色々な場所にでかけるのでマナーを覚えたり、たくさんの人と交流することで、コミュニケーション能力を高めていくことができる。	苦手なことでも、極力本人に行動してもらうようにしている。他人と関わることに拒否反応を示さないように、たくさんの人との交流の場を設けるようにしている。	地域の人との交流の場も積極的に作っていきたいと思っている。 たくさんの人とふれあう事で、子供たちが生活しやすくなる環境を作っていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	言語療法士や、作業療法士が居ないのでより専門的な療育にかかる部分がでてきてしまう。	失語症や、構音障害の子が言葉への理解があるためコミュニケーションが取れており、不便さを感じていなかった。	必要に合わせて、言語療法士や、作業療法士の方の採用も視野に入れる必要がある。
2	従業員との距離が近すぎて友達感覚になってしまふ時がある。	あまり固くなりすぎないようにと考えている事が、従業員の捉え方によってさまざまになってしまっている。	子供たちとの距離感の統一を従業員全体でもう一度徹底していく。
3			